	科目名		PA基礎実習	I	担当講師	E	PA基礎実習 担当講師 田上 涼							
講師	下実務経 験	ライブハウ	ス勤務											
交	象学年	1 学年	対象コース	サ	ウンドステージ	授業形態	実習							
	期間	前期	総授業回数	13 🗓	1回あたりの	授業時間	135 分							
修	得目標	ケーブルや	マイクスタンド	・ 等のPAアイ ・	テムの扱い方を修得	する。								
回数	日程			【授	業計	画】								
1	4月17日	授業ガイダ	ンス											
2	4月24日	ケーブルに	こついて(ケーフ	ブルの説明、	巻き方、結び方)									
3	5月8日	ケーブルの)巻き方と結び	方、マイクスク	タンドの立て方									
4	5月15日	ケーブル巻	き練習①、マ	イクスタンドの	構造について、マイ	クスタンドの取り	扱い方							
5	5月22日	ケーブル巻	き練習①、ケー	ーブルの引き	回し①、マイクスタン	ドを扱う練習								
6	5月29日	ケーブル巻	き練習①、ケー	ーブルの引き	回し②、スタンドスピ	ーカーの扱いに	ついて①							
7	6月5日	スタンドスヒ	ピーカーの扱い	いについて②、	マイキング、各ケー	ブルの結線練習								
8	6月12日	マルチケー	-ブルとマルチ:	ボックスにつし	いて、立ち上げケース	ブルの扱い方								
9	6月19日	仕込み図の	D見方と仕込 <i>み</i>	yについて、 T	ニター機材について	こ、OUTについて								
10	7月3日	仕込み練習	習①、モニター.	卓について										
11	7月10日	仕込み練習	3②、PAの実施	銭作業を経験	してみる									
12	8月21日	復習と定期]試験対策①											
13	8月28日	復習と定期]試験対策②											
14														
15														
<u>=</u>	·····································	定期試験点 成績評価力		 得度(70%)平	常点±10点(出席率、	提出物、授業態度	・取組状況など)							
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	80) B(79-60) C(59	9-50) D(49以下	不可)							
	テキスト					-1.1								
注	意事項	39時間中	14時間の欠	席で定期試験	険受験不可=卒業がで	できません(留年	となります)							

;	科目名		楽器演習		担	当講師	斎蕂	康次	
講師	下実務経験	音響会社勤	协務						
交	才象学年	1 学年	対象コース	サウ	ンドステージ	ブ専攻	授業形態	実習	
	期間	前期	総授業回数	13 🗓	1 🗖	あたりの授業	時間	135 分	,
修	得目標	ドラムセット	·ヤギター·ベ-	ースのセッティ	ィングを修得	尋する 。			
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	4月17日	授業ガイダ	`ンス						
2	4月24日	ドラムセット	〜の各部名称 [」]	や種類につい	て				
3	5月8日	ドラムセット	への基本セッテ	イングについ	て				
4	5月15日	ドラムセット	へのセッティン <i>?</i>	グ実践①					
5	5月22日	ドラムセット	へのセッティン?	グ実践②					
6	5月29日	ドラムセット	へのセッティン?	<u></u> ゲ実践③					
7	6月5日	ドラムセット	へのセッティン?	グ実践④					
8	6月12日	ギター、ベー	ースの各部名	称とレギュラ-	ーチューニン	ングについて			
9	6月19日	ギター、ベー	ースのレギュ	ラーチューニン	/グ実践	ギターの3コ	ードを習得		
10	7月3日	ギター、ベー	ースのチューニ	ニングとコード	演奏実践(D			
11	7月10日	ギター、ベー	ースのチューニ	ニングとコード	演奏実践(2			
12	8月21日	実技テスト	——— の練習						
13	8月28日	実技テスト	試験対策	Ę					
14									
15									
Ē	呼価方法	定期試験点 成績評価7	数(30 %)実技修 5法:B	— ≶得度(70 %) 平	常点±10点	(出席率、提出	物、授業態度・	取組状況など	()
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	00-90) A(89-	-80) B(79-	-60) C(59-50	D(49以下	不可)	
	テキスト 	201±88 ±	1 40世間の与	· 中 - 二 中 - 二 中 - 二	<u> </u>	_ 	+111/57/-	-+>II++>	
汨	意事項	39時间午	□ 14時間の欠	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_恢	- 쑤耒かでさる	ません(留件と	ニ はりより)	

;	科目名		就職ガイダン	ス	担	当講師	_	岡永	
講師	実務経験	音響会社茧	肋務						
交	象学年	1 学年	対象コース	就	職対象コー	-ス	授業形態	講義	•
	期間	前期	総授業回数	14 🗓	1 🖸]あたりの授業	時間	45	分
修	得目標	就職活動に	に向けた心得や	ち、応募準備を	を修得する	0			
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	4月18日	授業ガイダ	ンス 就職活動	動に対する心	構え/業界	職の概要			
2	4月25日	映像関連聯	戦の紹介						
3	5月9日	舞台関連職	戦の紹介						
4	5月16日	社会人と労	働について						
5	5月23日	社会人教育	1						
6	5月30日	自己PRに	ついて~自己分	分析					
7	6月6日	自己PRの	書き方						
8	6月13日	自己PR作列	· 龙						
9	6月20日	求人票の見	見方とポイント						
10	7月4日	受験企業選	選定に向けた優		いて				
11	7月11日	就職活動記	十画について/i	就職希望調査	書				
12	7月18日	自由応募と	:推薦求人につ	いて					
13	8月22日	就職活動の)具体的な流れ	ı					
14	8月29日	社会人教育	2						
15									
 評	価方法	3分の2以.	上の出席で修	得済評価					
	評価	評価 修得							
	テキスト		プリント配布				د		
注	意事項	14時間中	5時間の欠席で	で定期試験受	:験不可=進	級ができませ	ん(留年とな	ります)	

7	科目名		時事研究		担当	当講師	ЩE	田 佳晴
講師	写務経験	テレビ・放送	送関連会社勤和	务				
灾	才象学年	1 学年	対象コース	スタッ	フ関連科目	受講者	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	14 🗓	10	あたりの授業	時間	45 分
修	得目標	ニュース・฿	寺事問題を読∂	み解き、日常9	生活の思考	・行動に活用	する力を修得	身する 。
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	4月18日	授業ガイダ	ンス、時事研究	究について				
2	4月25日	直近のニュ	ースについて	1				
3	5月9日	直近のニュ	ースについて	2				
4	5月16日	直近のニュ	ースについて	3				
5	5月23日	直近のニュ	ースについて	4				
6	5月30日	直近のニュ	ースについて	5				
7	6月6日	直近のニュ	ースについて	6				
8	6月13日	直近のニュ	ースについて	7				
9	6月20日	直近のニュ	ースについて	8				
10	7月4日	直近のニュ	ースについて	9				
11	7月11日	直近のニュ	ースについて	10				
12	7月18日	直近のニュ	ースについて	11)				
13	8月22日	直近のニュ	ースについて	12				
14	8月29日	講義振り返	り、試験対策					
15								
— — 討	·····································	定期試験(成績評価力	筆記試験)100 5法:A	%、平常点土	10点(出席:	率、提出物、 ^j	受業態度•取	組状況など)
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	-80) B(79-	60) C(59-50) D(49以下	不可)
	テキスト	無し						
注	意事項	14時間中	5時間の欠席で	で定期試験受	験不可=卒	業ができませ	ん(留年とな	ります)

;	科目名		電気基礎 担当講師 鈴木 雅光							
講師	実務経験	イベント制化	作会社勤務							
坎	才象学年	1 学年	対象コース		共通		授業形態	講義		
	期間	前期	総授業回数	14 🗓	1回	あたりの授業	美時間	45	分	
修	得目標	電気の基	よ礎及び電気 を	安全に取扱	するための	知識を習得す	ける。			
回数	日程			【授	業	計	画】			
1	4月18日	授業ガイダ	ンス							
2	4月25日	基礎的な電	気について	電流・電圧・排	氐抗					
3	5月9日	直流と交流	とオームの法	則について						
4	5月16日	直列•並列	及び合成抵抗	について						
5	5月23日	単相2線式	、周波数、実效	め値について						
6	5月30日	電気容量計	†算、ジュール	の法則につい	いて					
7	6月6日	リアクタンス	ス、インピーダン	ンスについて						
8	6月13日	有効電力、	無効電力、皮	相電力。 力	率 単相交流	流と三相交流	たについて			
9	6月20日	単相交流と	:三相交流、ス	ター結線、デ	ルタ結線に	ついて				
10	7月4日	電圧降下•	電力損失につ	いて						
11	7月11日	ケーブルの	種類 、電線(の許容電流に	こついて					
12	7月18日	電気の安全	≧な取り扱い、	発電機からの	ででして でんしん でんしん でんしん でんしん でんしん でんしん でんしん	いて				
13	8月22日	複線図につ	いて							
14	8月29日	定期試験対	対策							
15										
氫	 <u>F</u> 価方法	定期試験(筆記試験)100	%、平常点土	10点(出席2	率、提出物、 ,	受業態度•取	組状況など	<u>`</u>)	
		成績評価力								
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	-80) B(79-	60) C(59–50)) D(49以下	不可)		
	テキスト	1 :		L	- FA	1 alle 1 2 1 1 1	ء مسدوری			
注	意事項	14時間中	5時間の欠席	まで定期試験	受験不可=	卒業ができま	せん(留年と	:なります)		

;	科目名		音響概論 I			担当講師	E	 l上 涼
講師	写務経験	ライブハウ	ス勤務					
坎	象学年	1 学年	対象コース	サ	ウンドス	ステージ	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	14 回		1回あたりの授業	美時間	135 分
修	得目標	PAになる#	為に必要な基礎					
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	4月18日	授業ガイダ	ンス					
2	4月25日	PAとは、音	とは、耳の構造	<u>告</u>				
3	5月9日	音の流れ、	コネクタとケー	ブルについて	(1)			
4	5月16日	コネクタとケ	ーブルについ ブルについ	へて②、スタン	ドスピー	-カーシステムの	PA機材につい	ハて
5	5月23日	マイクロファ	ナンについて①)				
6	5月30日	マイクロファ	ナンについて②)				
7	6月6日	DI、ミキサ-	ー、パワーアン	プについて				
8	6月13日	スピーカー	について、音の)性質				
9	6月20日	位相と電気	について					
10	7月4日	音響用語①	D					
11	7月11日	音響用語②	2)					
12	7月18日	音響用語	3)					
13	8月22日	音響用語②	D					
14	8月29日	定期試験対	対策					
15								
======================================	価方法	定期試験(成績評価プ		%、平常点土	10点(出	出席率、提出物、	受業態度•取	組状況など)
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	80) B	(79-60) C(59-50	D(49以下	不可)
	テキスト	400400		┍ ╈╸╾╸ ╒ ╸┷╸┷╸╸	\ r^ =	+ 44 1 N L	L . 1 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1 #s 1 1
注	意事項	42時間中	15時間の欠	席で定期試験	東党験プ	下可=卒業ができ	ません(留年の	となります)

;	科目名		PA実習		担当講師	Б	千葉	諭/田上	涼			
講朗	下実務経験	音響フリー	エンジニア			,						
対	ま学年	1 学年	対象コース	サワ	ウンド・ステ <i>ー</i> ジ	授	業形態	実	習			
	期間	前期	総授業回数	13 回	1回あた	りの授業時間	間	270	分			
修	得目標	音響機材の	音響機材の名称や用途と、音響システム全体の作業内容を修得する。									
回数	日程			【授	業計	画】						
1	4月19日	実習で使用	引する機材、ケ	ーブル、コネク	ウター等の名称、	用途、配置	場所を確	認する				
2	5月10日	スピーカー て	、パワーアンフ	『等の機器の	接続方法と、マイ	(クやマイク)	スタンドの)扱い方(こつい			
3	5月17日	音響卓、周	辺機器の接続	方法と、音響	『卓の音量調整、	操作方法に	ついて					
4	5月24日	音響システ	·ムの全体的な	・セッティング	方法を確認する							
5	5月31日	再生機器な	ら、エフェクター	-の接続方法。	と、それらを使っ	た機器の操	作方法に	こついて				
6	6月7日	カラオケを	想定した音響う	ンステム全体	のセッティング方	法について						
7	6月14日	少人数シュ	ミレーション①)カラオケの	セッティングを2名	呂~3名で行	ið					
8	6月21日	少人数シュ	ミレーション②)カラオケの	セッティングを2名	呂~3名で行	ið					
9	7月5日	アコーステ	ィックライブをな	想定した音響	システム全体の	設営方法						
10	7月12日	少人数シュ	ミレーション③) アコーステ	ィックライブのセッ	ッティングを	2名~3名	名で行う				
11	7月19日	少人数シュ	ミレーション④) アコーステ	ィックライブのセッ	ッティングを	2名~3名	名で行う				
12	8月23日	楽器のマイ	′キング① ギ	ター、ベース								
13	8月30日	楽器のマイ	′キング② ドラ	5ム、キーボー	-ド、定期試験対	策						
14												
15												
≣ त	·····································	定期試験点	数(30%)実技修	得度(70%)平	学常点±10点(出席	[率、提出物、	授業態度	₹•取組状》	況など)			
		成績評価力										
	評価	上記総合記			80) B(79-60)	C(59-50) C	(49以下	不可)				
	テキスト 各回授業にてプリント配布 注意事項 78時間中 27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						L \					
汪	意事項	/8時間中	2/時間の欠	席で正期試験	東文駅小미=쑤業	かぐさませ	ん(留年)	となります)			

;	科目名		安全概論		担:	当講師	久乙	本 晃三
講師	ī実務経験	音響会社菫	肋務					
対	象学年	1 学年	対象コース		共通		授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	13 回	1 🖪]あたりの授業	時間	45 分
修	得目標		技術安全協会の に安全への意			↑て理解し、様	々な作業に済	替む危険を予測
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	4月20日	授業ガイダ	ンス					
2	5月11日	安全衛生管	管理の基本につ	ついて				
3	5月18日	現場におけ	├る、事故事例	の紹介につい	いて			
4	5月25日	ひやり、ハ	ット事例につい					
5	6月1日	作業に適し	た服装(靴、ク	 ブローブ、衣服	 最等)につい	17		
6	6月8日	革手袋長所	析、短所、ヘル.	メット材質、寿	命につい	C		
7	6月15日	ヘルメットの	Dかぶり方、部	分名称、チェ	ック項目に	ついて		
8	6月22日	ラッシング	ベルト,機材の資	重搬(台車)に	ついて			
9	7月6日	台車、安全	帯について					
10	7月13日	健康管理と	:日常生活につ	いて				
11	7月20日	精神的な注	注意事項他につ	いて				
12	8月24日	始業時の打	Tち合わせ他に	こついて				
13	8月31日	落下、飛来	落下、転倒、低	倒壊など危険	を伴う作業	他、定期試験	対策	
14								
15								
評		定期試験(成績評価力	筆記試験)100 5法:A	%、平常点土	10点(出席	率、提出物、持	受業態度•取	組状況など)
	評価	上記総合詞	平価点 S(10	0-90) A(89-	-80) B(79-	-60) C(59-50) D(49以下	不可)
	テキスト							
注	意事項	13時間中	5時間の欠席	で定期試験	受験不可=	卒業ができま	せん(留年と	なります)

	科目名	ペン字講座 担当講師 西山 香								
講師	実務経験	書道教室講	構師							
交	才象学年	1 学年	対象コース	スタッ	フ関連科目	受講者	授業形態	実習		
	期間	前期	総授業回数	13 回	1 🖪]あたりの授業	時間	45	分	
修	得目標	きれいで美 得する。	しい「ひらがな	゛」「かたかな」	「漢字」の	書き方を修得	し、「履歴書」	の作成方法	を修	
回数	日程			【授	業	計	画】			
1	4月20日	「ひらがな」	の書き方の練	三百						
2	5月11日	「履歴書下	書」の作成							
3	5月18日	「カタカナ」(の書き方の練 ^っ	P E						
4	5月25日	「漢字」(横	書・熟語)の書	き方の練習						
5	6月1日	「横書文章	」の書き方の総	東習						
6	6月8日	「住所」の書	書き方の練習							
7	6月15日	「常用漢字	」の書き方の総	東習①						
8	6月22日	「常用漢字	」の書き方の総	東習②						
9	7月6日	筆記試験								
10	7月13日	履歴書作成	梵 ①							
11	7月20日	履歴書作成								
12	8月24日	履歴書作成	************************************							
13	8月31日	履歴書作成	基 4							
14										
15										
<u> </u>	価方法	3分の2以.	上の出席で「修	8得済}評価						
	評価	「修得済}諄	平価(点数評価	は行わない)						
	テキスト	10吐肥土	こは明のを史	ス「仮俎☆・マ		ジズキナエレノノ	の左しナミリナ・			
冯	意事項	一づ時间中	5時間の欠席	ご 修侍済」1	トリ=進級の	いでさませんし	笛平となりま	9)		

7	科目名		舞台論		担	当講師	竹雪	平 耕一
講師	手務経験	放送局関連	重会社勤務、照	明デザイナ-	_			
文	力象学年	1 学年	対象コース	ス	タッフ系コ	ース	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	13 回	1[回あたりの授業	美時間	45 分
修	得目標	劇場の歴史	2や舞台の基本	*的な知識お	よび設備	について修得 ⁻	する。	
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	4月20日	授業ガイダ	ンス、					
2	5月11日	西洋の上濱	寅芸術や劇場9	史について				
3	5月18日	日本の上濱	寅芸術や劇場9	史について				
4	5月25日	舞台の基本	、平面∙断面	・ ・ 寸法につい	<u> </u>			
5	6月1日	幕類用吊物	か設備について					
6	6月8日	照明用吊物	対録備について					
7	6月15日	大道具用お	るよび音響反射	す板・スクリー:	ンなどのお	吊物設備につい	いて	
8	6月22日	舞台の床機	機構について					
9	7月6日	舞台の照明	目設備について					
10	7月13日	幕類•照明	に関する専門	用語について				
11	7月20日	公演·舞台	、機構・道具に	関する専門原	用語につい	.17		
12	8月24日	スタッフの利	重類と役割につ	ついて/安全管	ーーー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「労働災害防止	-について	
13	8月31日	前期の総括	5および試験対	力策				
14								
15								
定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など 成績評価方法:A						組状況など)		
	評価	上記総合語		0-90) A(89-	·80) B(79	9-60) C(59-50	D) D(49以下	不可)
7	テキスト	各回授業に	てプリント配る	र्न				
注	意事項	13時間中	5時間の欠席	で定期試験	受験不可	=卒業ができま	せん(留年と	なります) なります)

;	科目名	音	響機材メンテナ	ンス	担	当講師	米	谷 仁
講師	下実務経験	音響会社勤	肋務					
交	才象学年	1 学年	対象コース	サ	ウンドステ-	ージ	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	13 回	1 🖸]あたりの授業	時間	135 分
修	得目標	PA機材の	基本的なメンラ	ナンス方法を	を修得する	0		
回数	日程			【授	業	計	画】	
1	4月20日	授業メンテ	ナンス					
2	5月11日	ブロックダイ	イヤグラムにつ	いて①				
3	5月18日	ブロックダイ	イヤグラムにつ	いて②、マイ	クスタンドの	の構造につい	τ	
4	5月25日	ケーブルと	は、はんだごで	ての扱い方と	·····································			
5	6月1日	はんだごて	の扱い方と練	習②				
6	6月8日	はんだごて	の扱い方と練	習③				
7	6月15日	ケーブル作	成①					
8	6月22日	ケーブル作	成②					
9	7月6日	ケーブル作	成③					
10	7月13日	機材メンテ	ナンスについて	(1)				
11	7月20日	機材メンテ	ナンスについて	(2)				
12	8月24日	機材メンテ	ナンスについて	C ③				
13	8月31日	定期試験対	 対策					
14								
15								
 評	· 萨価方法	定期試験点 成績評価力		————— 得度(50%)平	常点土10点		一 <u>———</u> 出物、授業態度	・取組状況など)
	評価	上記総合訓		0-90) A(89-	80) B(79-	-60) C(59-50) D(49以下	不可)
7	テキスト							
注	意事項	39時間中	14時間の欠	席で定期試験	美受験不可	=卒業ができる	ません(留年の	となります)

;	科目名		イベント概論	ì	担当講	師	横L	山 聡史
講師	下実務経験	広告代理局	ち~WEB企画	制作会社設立	:~フリーのディ	レクターノ	/プロデュー [·]	サー
交	象学年	1 学年	対象コース	サウンド・ステー	-ジコース/ライティ	ケグコース	授業形態	講義
	期間	前期	総授業回数	13 回	1回あた	りの授業	時間	90 分
修	得目標	イベントの	知識とスタッフ	の役割、企画	・運営等の基礎	楚をを修得	まする。	
回数	日程			【授	業計		画】	
1	4月21日	授業概要の 目標設定と		関心や興味る	を持つことの大	切さを学ぶ	ぶ。毎週ニュ-	ース発表必須。
2	5月12日	イベントとに イベントの!		な運営組織図	、企画の重要	生を学ぶ。		
3	5月19日	イベントに 1回目(ディ		セクションやス	タッフの役割に	ついて学	¹ ぶ。	
4	5月26日		関わる様々な [・] ・レコーディンク		タッフの役割に	ついて学	- ぶ。	
5	6月2日	イベントに 3回目(照明		セクションやス	タッフの役割に	こついて学	- ぶ。	
6	6月9日		関わる様々な ⁻ デューサー)	セクションやス	タッフの役割に	ついて学	<u>-</u> ぶ	
7	6月16日		関わる様々な ⁻ 崔者、後援、協		タッフの役割に	ついて学	<u>-</u> ぶ	
8	6月23日	イベントに 6回目(MC		セクションやス	タッフの役割に	ついて学	<u>-</u> ぶ	
9	7月7日		関わる様々な [・] 場選定の条件、		、タッフの役割に 動)	ついて学	<u>-</u> ぶ	
10	7月14日		関わる様々な ⁻ 、ントの広報)	セクションやス	タッフの役割に	ついて学	<u>-</u> ぶ	
11	7月21日		関わる様々な [・] ィアとインター		、タッフの役割に SNS)	ついて学	<u>-</u> ऽः	
12	8月25日	企画の必要 どの立場で	要性。 ぎあっても考え	、準備する必	要性を学ぶ。			
13	9月1日		関わる心得。 要な心得、プラ	イオリティを学	±ぶ。			
14								
15								
評価方法 定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A						組状況など)		
	評価	上記総合記		0-90) A(89-	80) B(79-60)	C(59-50) D(49以下	不可)
-	テキスト							
注	意事項	26時間中	9時間の欠原	まで定期試験	受験不可=卒業	ができま	せん(留年と	:なります)

:	科目名	文書	デザイン(選択	(授業)	担当	講師	熊名	らめぐみ			
講師	実務経験	広告会社勤	カ務・現フリーラ	ランスライター							
交	才象学年	1 学年	対象コース	サウン	ド・ステージ=	コース	授業形態	実習	3		
	期間	前期	総授業回数	5 回	1回あ	うたりの授業	時間	135	分		
修	得目標	Word・エク・	セルを中心にF	Cの初歩的な	は基本操作を	習得する。	を修得する。				
回数	日程			【授	業	計	画】				
1	7月7日	授業ガイダ PC操作・W	ンス ordの基本的な	↓操作•文書作	 作成						
2	7月14日		rdによるビジュアル文書の形式・作成 書作成を行いながら、文字装飾や段組み、表や図の挿入・編集、ページ罫線を学ぶ								
3	7月21日		rdによるビジュアル文書の形式・作成 2回で学んだことを生かし、指定した文書を制作する								
4	8月25日		celの基本機能と操作を学ぶ cel:よく使用する関数の習得								
5	9月1日	Excelの様	マな関数(桁数	(処理関数、論	扁理関数、関	数のネスト	等)を習得し、	問題を解	<		
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
部	価方法	定期試験点	数(30%)実技修	得度(70%)平	常点±10点(出席率、提出	出物、授業態度	•取組状況	はど)		
<u> </u>	価方法	定期試験点 成績評価力	ā数、平常点± ī法:C	- 10点(出席率	<u></u> ≚、提出物、授	 受業態度·取	(組状況など)				
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)									
-	テキスト										
注	意事項	15時間中	6時間の欠席	で定期試験	受験不可=卒	業ができま	せん(留年と	なり <u>ま</u> す)			

7	科目名		選択 DTM実	習	担当講師 作山 厚					
講師	う実務経験	DTM・ベー.	ス講師経験 /	楽曲配信	·BGMサイト楽	曲提供				
交	才象学年	1 学年	対象コース		実習選択者	<u>,</u>	授業形態	実習]]	
	期間	前期	総授業回数	3(2)	1回	あたりの授業	時間	135	分	
	期				修得目	標				
	前期	基本的な打	「ち込み技術を	修得する。						
回数				【授	業	計	画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	サンプルフ	ァイルを活用し	たビート制	作					
2	5月26日 6月2日 6月9日	ピアノパー	トとベースの打	ち込み						
3	6月16日 6月23日	シンセサイ	ザーVを使用し	た歌メロス	. 力					
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
評	· 価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価								
	評価	「修得済」評価(点数評価は行わない								
7	テキスト									
注	意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の	欠席で定期	月試験受験不	可=卒業がで	きません(留	年となりま	す)	

7	科目名		PA実習(選択	!)		担当講師	久	本 晃三	
講朗	実務経験	音響会社菫	协務						
交	才象学年	1 学年	対象コース			共通	授業形態	実技	Ę
	期間	前期	総授業回数	3(2)	回	1回あたりの授	業時間	135	分
	期					修得目標			
	前期	PAという仕	:事を理解し、、	マイクケ	ーブル	、、マイクスタンドの基	本的な取り扱い	を修得する	5 .
回数				【授		業計	画】		
1	4月21日 5月12日 5月19日	オリエンテ-	ーション、ケー	ブル巻き	<u>\$</u>				
2	5月26日 6月2日 6月9日	PAセクショ	ンの仕事の概	要説明	、ケー	-ブル巻き、マイク、マ	イクスタンドの耳	なり扱い	
3	6月16日 6月23日	PAセットを	組んで音を出し	してみる) ₀				
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
評	· 価方法	2/3以上の	出席で「修得済	· 子」評価					
	評価	「修得済」語	平価(点数評価	は行わ	ない				
=	テキスト								
注	意事項	9(6)時間。	中 4(3)時間の	欠席で	定期記	式験受験不可=卒業が	できません(留	年となりま	す)

;	科目名		選択 REC実	<u> </u>	担当講師 金沢琢司						
講師	下実務経験	レコーディ	ングスタジオ勤	務							
交	象学年	1 学年	対象コース		実習選択者	授業形態	実習				
	期間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの	授業時間	135 分				
修	得目標	レコーデイ	ング業界とレコ	ローディングエ	ンジニアという職業	を理解し修得する	5 。				
回数				【授	業計	画】					
1	4月21日 5月12日 5月19日	スタジオワ	一クを理解し、	レコーデイン	グエンジニアの職種	を理解する。					
2	5月26日 6月2日 6月9日	ブース内(ース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクセッテイングをし録音作業を行う。								
3	6月16日 6月23日	デモ音源を使いトラックダウンを行う。									
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
部	严価方法		出席で「修得》								
	評価	修得済」評	価(点数評価)	は行わない							
	テキスト	0/0/8488		6-p		18-1-11	1 /- 1 - 4-11 - 4-1				
注	意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の	火席で定期	試験受験不可=卒業	かできません(留	件となります)				

	科目名	選	択 ヴォーカル	実習	担当	講師	吉	田佳代	
講師	下実務経験	シンガーソ	ングライター						
交	才象学年	1 学年	対象コース		実習選択者	<u>,</u> I	授業形態	実習	P
	期間	前期	総授業回数	3(2) 🗓	1回	あたりの授業	時間	135	分
	期				修得目	標			
	前期	発声法基础	楚と歌唱法を修	得する。					
回数				【授	業	計	画】		
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基础	楚(高音域•低音	音•中音域)	歌唱法(ミッ	クスボイス)			
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基础	楚(高音域•低音	音•中音域)	歌唱法(ビブ	ブラート)			
3	6月16日 6月23日	発声法基础	楚(高音域•低音	音∙中音域∙∮	肆腔共鳴)				
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
<u> </u>	严価方法	3分の2以_	上の出席で「修	得済」評価					
	評価	「修得済」記	平価(点数評価	は行わない					
	テキスト								
注	E意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の	欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	きません(留:	年となりま	(す)

	科目名	ì	選択 ギター実	'習	担当講師 川畑統正							
講師	下実務経験	ギタリスト	/ ヤマハ認定詞	溝 師								
文	才象学年	1 学年	対象コース		実習選択者		授業形態	実習	3 1			
	期間	前期	総授業回数	3(2) 🗓	1回	あたりの授業	時間	135	分			
修	得目標	ギター演奏	の基本技術と	知識の修得 [·]	する。							
回数				【授	業	計	画】					
1	4月21日 5月12日 5月19日	実習内容に	こついて説明、	セットアップ、	基本エクサ	サイズ						
2	5月26日 6月2日 6月9日	オープンコ	ード、コードの	応用、シンプ	ルな課題曲							
3	6月16日 6月23日	ブルースフ	一スフォームでの様々な演奏スタイル									
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
i.	平価方法	3分の2以」	Łの出席で「修	得済」評価								
	評価	「修得済」語	平価(点数評価	iは行わない)	ı							
=	テキスト											
注	上意事項 上意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の	欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	きません(留	年となりま	(す)			

	科目名	選	択 テレビ番組	制作	担当	i講師	田端	優一		
講師	下実務経験	放送局関泛	重会社勤務							
求		1 学年	対象コース		各コース		授業形態	 実習		
	期間	前期	総授業回数	3(2)		あたりの授業		135 分	<u> </u>	
修	得目標	番組制作の	の流れとスタッ	フの役割を理	!解し、基礎	的知識と技術	jを修得する。			
回数				【授	業	計	画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイタ	「ンス~番組制	作の現場につ	ついて					
2	5月26日 6月2日 6月9日	テレビスタ	ジオ、副調整室	宮の仕組みや	機材全般の)取り扱い方に	こついて			
3	6月16日 6月23日	テレビスタ	ジオで番組の↓	収録を行う						
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
部	P価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価								
	 評価	「修得済」		iは行わない						
-	<u></u> テキスト	資料配布								
	<u>/</u>		中 4(3)時間の)欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	きません(留年	 ▼となります))	

;	科目名	;	選択 ドラム実	習		担当	講師	岸	林大輔	
講師	声 実務経験	演奏家、ヤ	マハ、三響、ミ	ツノ講師						
交	才象学年	1 学年	対象コース		実習	'選択者	-	授業形態	実	<u> </u>
	期間	前期	総授業回数	3(2)		1回	あたりの授業	時間	135	分
	期				修	得目	標			
	前期	Dr.Set、リス	ズムの基本を修	を得する。						
回数				【授	業		計	画】		
1	4月21日 5月12日 5月19日	Stick Cont	rol&Foot リズム	ムスタイル						
2	5月26日 6月2日 6月9日	リズムスタ	イル#2、Fill-In							
3	6月16日 6月23日	リズムスタ	イル#2、Fill−In.	、エチュート	演奏、	まとめ				
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	平価方法	3分の2以」	Lの出席で「修	得済」評価						
	評価	「修得済」詞	平価(点数評価	は行わない	١					
	テキスト									
注	E意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の)欠席で定	期試験	受験不	可=卒業がで	できません(留	年となり	ます)

	科目名	ì	選択 ベース実	習	担	当講師	木	村圭子			
講師	市実務経験	ベーシスト									
文	付象学年	1 学年	対象コース		実習選択	者	授業形態	実習	2		
	期間	前期	総授業回数	3(2)	1 🖪	あたりの授業	美時間	135	分		
	期				修得目	標					
	前期	発声法基础	楚と歌唱法を修	5得する。							
回数				【授	業	計	画】				
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基础	楚(高音域•低音	音•中音域)	歌唱法(ミ)	ックスボイス)					
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基础	楚(高音域•低音	音•中音域)	歌唱法(ビ	ブラート)					
3	6月16日 6月23日	発声法基础	= 吉法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)								
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
Ē	平価方法	3分の2以_	上の出席で「修	得済」評価							
	評価	「修得済」記	平価(点数評価	iは行わない							
-	テキスト										
注	注意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の	欠席で定期	試験受験不	可=卒業がで	きません(留	年となりま	(す)		

	科目名		照明実習(選排	(5		 担当講師		木 雅光		
			作会社勤務			****				
坎	 才象学年	1 学年	対象コース			共通	授業形態	実技	Ę	
	期間	前期	総授業回数	3(2)	□	1回あたりの授業	時間	135	分	
	期					修得目標				
	前期	『照明』とは る。	、どのような仕	事かを知	19、	自分が目指す職種と他の	の職種との関	目わりを修行	导す	
回数				【授		業計	画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダ	授業ガイダンス。照明という仕事について。音楽と照明について							
2	5月26日 6月2日 6月9日	仕込みから	シュートまでに	こついて						
3	6月16日 6月23日	光の演出效	効果について							
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15		In /ant in	11. php 27.45 /25	-						
Ē	F価方法		出席で「修得家							
	<u>評価</u> = キュレ	「修得済」	評価(点数評価	は行わな	:U\					
	テキスト E意事項	0(6)時間	由 4(3)時間の	欠度で宝:	抽言=	式験受験不可=卒業がで	きません(図)	年とかりま	占)	
/3	L心 学 仅	3/0/4寸[日]・	一 十(3/4寸 日]0/	八市 にた:	对可	MK 文家T'り-千未かじ	こみにかい由	ナレダッチ	ラ ノ	

;	科目名	文書デザイン(1期)				担当講師 熊谷めぐみ					
講師	下実務経験	ライター									
交	才象学年	1 学年	対象コース			選扎	5	授業形態	実習	Į I	
	期間	前期	総授業回数	3(2)	□		1回あたりの打	受業時間	135	分	
修	得目標	Word,Excel	を中心に PC <i>0</i>	D初歩的	りな基	本操作	を修得する。				
回数				【授		業	計	画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダ PC操作・タ	`ンス イピングの基礎	楚•Word	め基準	本的な	桑作				
2	5月26日 6月2日 6月9日	Wordにて、	ビジネス文書(の形式	、文字	修飾、	表・図形の挿 <i>刀</i>	と編集を学ぶ			
3	6月16日 6月23日	Excellこて、	elにて、資料の作成や初歩的な関数等について学ぶ								
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
Ē	萨価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価									
	評価	平価(点数評価	は行わ	ない							
	テキスト			, .		h = * -	·A — — ,	S - 1		1.	
注	E意事項	9(6)時間	中 4(3)時間の	欠席で	定期記	式験受	検不可=卒業カ	ヾできません(留	'年となりま	す)	